

2025
12
月号

県民の森だより



発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801 入園料：無料
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

利用時間：4月～10月/9時～16時30分

11月～3月/9時～16時

HPはこちら！

11月はツキノワグマへの警戒から森の散策を伴うイベントを中止としました。12月は予定のイベントは予定通り開催いたします。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。12月のイベントのひとつに14日開催の「星に願いを」があります。8月に悪天候で中止となったペルセウス座流星群観察のリベンジ企画で、12月に極大となるふたご座流星群を観察します。冬の夜のイベントは初めての試みです。澄み切った夜空に願い星を探してみてください。ご参加お待ちしております。
(所長：森山稔也)

12月のイベントは開催します

■お知らせ■

■県民の森は12月29日(月)～1月3日(土)の間、年末年始休園となります。

■冬季期間中、通行止
(12月20日～3月31日)、
古林林道(2号幹線道路：サクラ見本園駐車場～青麻神社方面への道路)が、凍結事故防止のため**通行止め**となります。



■アスレチック補修工事■

12月から2月末まで、アスレチックの補修工事が行われます。工事中の遊具周辺が立入禁止となります。表示に注意してご利用ください。

■クリーンアップ作戦■

12月6日(土)にボランティアによる県民の森の清掃活動が行われます。不法投棄ごみの回収作業です。粗大ごみ、生活ごみ、業者による多くの廃棄物が捨てられています。不法投棄は犯罪です。マナーを守って大切な森を守りましょう！



★県民の森クローズアップ NO.8★

野外音楽堂周辺の四季

♪さざんか さざんか さいたまち・・・

しもやけおててが もうかゆい月
懐かしい昭和の童謡「たき火」が聞こえてきそうな「野外音楽堂」は、中央記念館から南東方向の階段を降りた奥に、まるでコンクリートのモンスターが屹立しているような姿でひっそりと佇んでいます(残念ながら設備の老朽化により現在はほとんど利用されていませので、その存在を知る人も少ないと思われます)。周辺にはサザンカが垣根のように植栽されています。ちょうど今の時期から冬にかけて、花の空白期間を埋める役目を背負っているように、凛冽とした風景を深紅の花がけなげにも忍耐強く彩っています。

マンサク

レンギョウ

ヒュウガミズキ

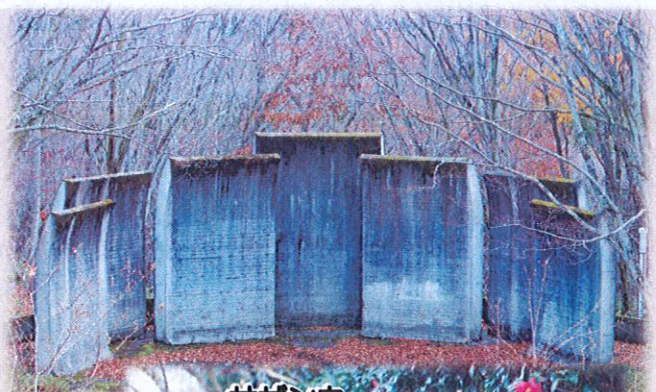
サザンカ

ヒトツバカエデ

ヒメシャラ

キリシマツツジ

音楽堂を見下ろす斜面では、春になるとマンサクの鮮やかな黄金色の花が先陣を切って咲き誇ります。続いてレンギョウ、ヒュウガミズキの黄花が後塵を拝して咲き乱れます。またキリシマツツジの真紅の花が斜面を彩ります。夏には樹皮がサルスベリに似たヒメシャラの白い花が鈴なりに咲き、秋にはステージ裏のヒトツバカエデの高木の葉が鮮やかな黄色に色づき、紅葉の森にひととき彩りを放ちます。



あまり目立ちませんが、野外音楽堂周辺の四季折々を彩る植物にも、是非、目を向けてください。
(片岡)

◆中央記念館◆コーナー vol.17～お土産販売 その10～



2026年のカレンダーが出来上がりました。県民の森の鳥たちを色鉛筆で描いたすてきな作品です。

壁掛けカレンダーは1部 1000円、卓上カレンダーは700円です。ご利用いただければ幸いです。



キジ 雉・雉子
(キジ目キジ科)



日本の国鳥。

留鳥。農地や草むらで草の種子や葉、昆虫類を食べています。オス（全長約81cm）は横向きハート型の赤い顔、光に輝く緑、長い尾羽といつも一張羅の様。メス（全長約58cm）は黄色がかった褐色といじらしい装い。

繁殖期の頃にはケーンケーンとよく通る声を聞いたことはありませんか？メスへのアピールで、翼を激しく羽ばたかせる動きは「母衣打ち（ほろうち）」と呼ばれます。

福沢諭吉さん時代の一万円札の裏側左右にキジのオスメスが描かれていたり、昔話の桃太郎では家来だったりと、とても身近な鳥なんですね。

（絵：秀・文：もち）



今月のスタンプが見つけたしぜんのひとコマ けんみんのもり写真館



シャリンバイ 車輪梅
(バラ科シャリンバイ属)
別名タチシャリンバイ 植栽

梅の様な花が咲き、枝や葉が輪生状に出ることから名づけられました。分布は宮城県以南で海岸や海岸に近い山地です。

とても丈夫なので、庭木や公園樹として植えられます。園内にも植栽されています。

花はたわわに咲き、ほのかな良い香りがします。果実は1cmほどのナシ状果。10～11月に黒紫色に熟します。おいしそうですが、タネが大きくて味もうすく、食用には向きません。ツグミやムクドリなどが食べに来ます。

樹皮は大島紬の染料になります。花期 5～6月 （駒野）



サークル「道草」第2回作品展 ～ポタニカルアート～

中央記念館小ホール
令和7年12月2日（火）
～12月21日（日）



ボタンツル 牡丹蔓・女菱
(キンポウゲ科センニンソウ属)



遊歩道沿いのあちらこちらに、ふわふわとした綿雪のようなものがツルにからみついています。ボタンツルのタネです。葉も落ちて色の少ない森の中、歩くと次々に目に入ってきます。

葉がボタンに似ているから「ボタンツル」。8～9月に真っ白い雲のような花を咲かせます。花はセンニンソウとよく似ていますが、葉が違うのでわかります。

はかなげな外観とは裏腹に、元気に良く育ち、庭ではフェンスに這わせたり、アーチを作ったりします。

多くのキンポウゲ科の植物と同じ有毒植物です。（田沢）

